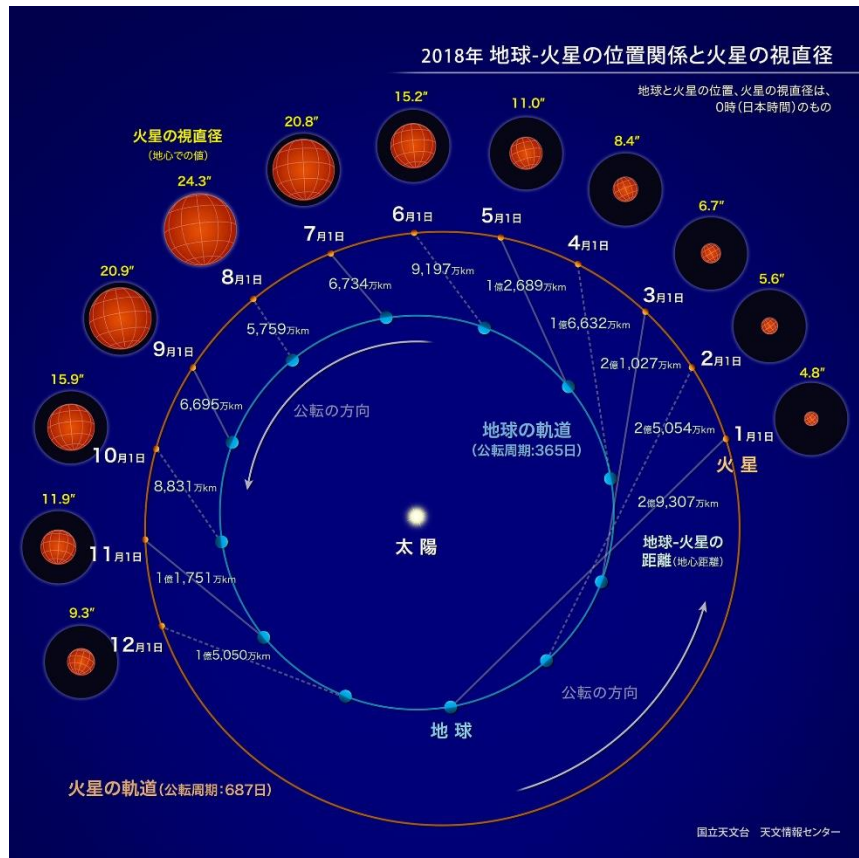
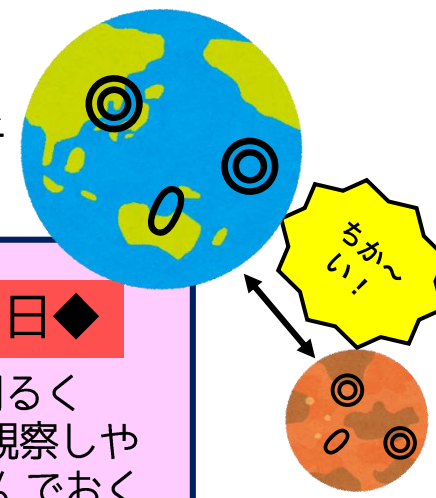


# 2018年夏、火星が地球に大接近!

夜空で赤く輝く火星は、地球のひとつ外側を公転している惑星です。火星は直径が地球の半分ほどしかなく、地球から遠い位置にあるときには、望遠鏡を使っても表面のようすをなかなか観察することができません。しかし、火星はおよそ2年2カ月ごとに地球に接近し、観察のチャンスが巡ってきます。そして、そのチャンスが、2018年の夏に訪れます。2018年の夏は、赤く輝く火星に注目しましょう!

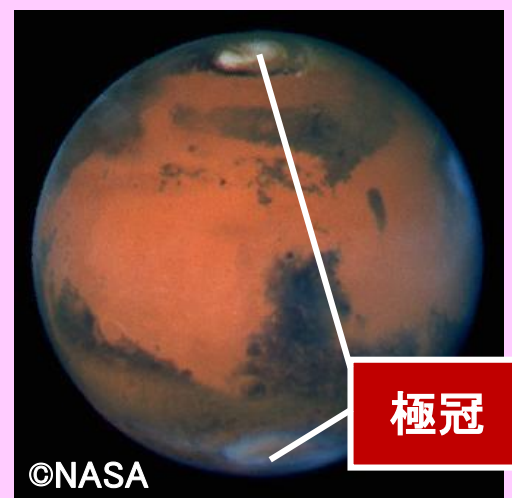


©国立天文台

## 【観察はココに注目!】

◆最接近は7月31日◆

2018年春から夏にかけて、接近するにつれ火星の明るさは徐々に明るくなっていくぞ! 6月下旬から9月上旬まではマイナス2等を超え、観察しやすい時期が長く続くんじゃ。次第に明るくなっていく火星を楽しんでおくれ〜! (観察に適した時間等は宮崎科学技術館までお問合せください)



## ◆望遠鏡で観察◆

望遠鏡で見たときに火星の極部分にある「極冠(きょくかん)」などがどれだけはっきり観察できるかが見所じゃぞ。

※「極冠」…惑星などの氷に覆われた高緯度地域のこと。左図で白く見える部分。



